

## 令和2年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 令和2年11月18日

NO	実施公民館	事業名	事業目的	期間・回数	学習内容	主な講師等
1	柳沢	家庭の教育力向上講座 子どもの自立と子どもとの絆を育むかかわり方 ～思春期の反抗期を迎えるまでに知っておきたいこと～	子育て世代を対象に子育てに関する学習機会を提供する。	2月20日 土曜日	子どもの自立の捉え方、また反抗期の子どもに向き合うためにどういう絆を育む必要があるのかを学ぶ。	木村宣貴（選択理論心理士、「M&F Relations」・「子育てが楽しくなるママカフェ」代表）
2	柳沢	地域防災講座 災害時にだれも孤立させないまちづくりを考えるPart 3	発災時に要配慮者の避難行動等を支援するしくみを考える。	1月30日 2月20日 3月6日 土曜日 全3回	市の制度や地域資源等について学び、要配慮者の発災時の安否確認や避難行動支援等のしくみを考える。	小野修平（ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー）
3	田無	父と子の講座 ライフスタイル講座 お父さんと子どもでつくる！ はじめての映像教室	地域、人、物事を観察し、生活に現れたり失われたりするもの、残したいものは何かについて考える。	1月31日から 3月7日まで 日曜日 全5回	映像制作の順序・方法を知る。地域、人、物事を観察し、題材や被写体を決め、撮影する。発表・鑑賞する。	日原進太郎（映画監督）
4	芝久保	防災講座 コロナ禍における避難所の開設と運営	避難所開設及び運営における課題やポイントを明らかにする。また本講座が、防災に関心のある地域住民が学校区の枠を超えてつながりあう関係を築くきっかけになることを目的として実施する。	1月17日 日曜日	①講義「在宅避難の重要性と避難所の役割とは？、避難所開設における行政・学校・地域の役割とは？」 ②保谷第二小学校避難所運営協議会作成の「避難所開設訓練のDVD」を観ながら、避難所の開設及び運営の課題やポイントを明らかにする。	小野修平（ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー） 保谷第二小学校避難所運営協議会メンバー 危機管理課職員（調整中）

5	谷戸	くらしに役立つミニ講習会	地域住民が気軽に参加し公民館に関心を持ってもらうことを目的とし、ロビー講習会として実施してきた。今年度はコロナ禍のため場所をロビーから学習室に移して実施。	① 1月28日 木曜日 ② 3月16日 火曜日	①アロマや香りについての話と保湿石鹸づくり ②風呂敷の歴史や素材、包み方の話と実践	①樋口綾子（日本アロマ環境協会インストラクター） ②鈴木信子（日本テキスタイルコーディネーター）
6	谷戸	健康教養講座 免疫力を下げない、わたしの養生法を見つけよう	人間の持つ自然免疫という力を知るとともに、その力を下げない、自分の養生法を見つけ実践することを目的とする。	① 1月26日 ② 2月2日 ③ 2月9日 火曜日 全3回	①伝統医学や免疫力を学ぶとともに、薬との付き合い方を教わる。 ②生活習慣を見直し自分に合った養生法を見つける。 ③からだメンテナンス術を身につける。	青木 満（漢満堂代表、薬剤師、鍼灸師、大田区鍼灸マッサージ師会会長）
7	ひばりが丘	ひばりが丘公民館開館30周年記念事業 公開座談会 「つながり！ひばりが丘公民館の未来へ」	ひばりが丘公民館開館30周年記念事業として、公開座談会を実施する。 ひばりが丘公民館の30年間の蓄積を振り返り、公民館がこれまで地域で果たしてきた役割について考え、公民館のこれからの可能性について考える機会とする。	1月31日 日曜日	・講演「地域文化と西東京市公民館（仮）」 ・パネリストによる座談会 ・まとめ「ひばりが丘公民館のこれからについて」	新藤浩伸（東京大学大学院准教授） ひばりが丘公民館利用サークルの代表 ほか
8	保谷駅前	セカンドライフ講座 人生100年時代 イキイキと暮らそう	定年退職を人生の定年とは考えず、人生をふりかえり、職業生活では目をむけるゆとりがなかった趣味・学習に取り組み、真に豊かなセカンドライフの実現を目指すために、何が必要か発見し実践することを目的とする。	① 1月30日 ② 2月6日 ③ 2月13日 土曜日 全3回	①定年後の長い期間の人間関係、地域環境の変化からくる新しい生き方を考えよう ②自己表現が出来る生きがいを見つけよう ③地域で生き生きできる居場所を作ろう 〈各回ワークショップ〉	山下由喜子（NPO法人関東シニアライフアドバイザー協会前理事長） 吉原有一・佐藤昌子（同専務理事）